

南竜ヶ馬場ビジターセンター、南竜ヶ馬場ケビン、南竜山荘、南竜ヶ馬場野営場、市ノ瀬野営場、中宮温泉野営場及び白山国立公園センターの平成19年度管理状況

施設所管課	環境部自然保護課
指定管理者	(財)白山市地域振興公社 理事長 永井 隆一
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	施設の使用受付、案内等の接遇向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ サービスマニュアルを作成し、従事員全員に対し、周知徹底を図っている。 ・ 講師を招き、接客講習会を開催し、接遇の向上を図った。 その他特記事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に野菜等の食材を人力により荷揚げし、利用者に新鮮な食材を使った食事を提供している。 ・ 利用者からの要望に応じて、ビデオ(自然・文化)の放映を行っている。
利用の促進に関する業務	施設の情報提供、広報、広告 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページを開設している。 周辺地域、関係機関との連携・協力の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境省、国交省、石川県、白山市等と情報交換を行うなど連携を図っている。
使用の許可に関する業務	使用許可、使用料の徴収、納入 <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用許可の件数((2)参照) ・ 使用料の収入実績((3)参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	清掃 <ul style="list-style-type: none"> ・ チェックアウト後の客室清掃を徹底している。 ・ 寝具の清潔保持に努めている。 保守点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開山時に、機械器具類の専門業者による点検(ボイラー・発電機等)を実施している。 小規模修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の小規模な破損等については、すみやかに修繕を実施している。
(その他知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理マニュアルの策定、職員への教育を実施している。 個人情報の管理状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 漏洩防止に努めている。 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 残雪時における、迷いやすい箇所での目印の設置や危険な箇所での足場の設置等、積極的に登山者の安全確保に努め

	ている。
--	------

(2) 施設の利用状況

利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

指標	H18 年度 (参考)	H19 年度	前年 度比	増減理由
南竜山荘宿泊者数(人)	2,878	3,359	117	シーズンを通して、大雨等による 主要地方道白山公園線の通行止め もなく、比較的天候に恵まれたた め。
南竜ヶ馬場ケビン宿泊 者数(人)	771	888	115	
南竜ヶ馬場野営場(人)	1,340	1,538	115	
市ノ瀬野営場(人)	721	691	96	
中宮温泉野営場(人)	97	151	156	
白山国立公園センター 利用者数(人)	5,719	5,489	96	

使用許可等の状況

	承認件数	
南竜山荘	3,359	
南竜ヶ馬場ケビン	210	
南竜ヶ馬場野営場	1,538	
市ノ瀬野営場	691	
中宮温泉野営場	151	
白山国立公園センター (会議室)	42	

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
南竜山荘	5,857,540	71,760	石川県自然公園施設条例第12条の規 定による。(学校教育の一環等)
南竜ヶ馬場ケビン	1,125,900	18,900	
計	6,983,440	90,660	

(4) 収支決算

(単位：千円)

収入		支出	
管理料	11,475	人件費	6,027
		光熱水費	1,446
		修繕費	529
		その他	3,473
合計	11,475	合計	11,475
収支差額	0		

(5) その他、県が必要と認める事項 (管理の実態を把握するために必要な事項)
 利用者アンケート結果、評価、苦情、要望
 なし

事故、故障等
 なし

その他報告事項など

--

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見 (工夫、改善点)
サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	B	・人力による新鮮野菜等の荷揚げによる食事の質の向上等により、サービスの向上に努めている。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・永年培った山小屋の施設維持管理のノウハウを活かし、適切な管理が行われている。
適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。
その他、必要と認める事項 (例：苦情処理、個人情報保護)	B	・個人情報保護において、適切な管理が行われている。
総合評価	B	・施設の設置目的にあった管理運営がなされている。

評価基準

- A (優) : 仕様書等に定める水準を上回っている
- B (良) : 仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C (可) : 仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D (不可) : 仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A (優) : 適正であり、優れた実績をあげている
- B (良) : 適正である
- C (可) : 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D (不可) : 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

--